

「みなと連携講座」 ツアークリエイター資格認定講座 解説

神戸夙川学院大学観光文化学部
教授 小野田 金司

1. 背景

日本の観光形態がマスツーリズム（団体型、発地型旅行）からニューツーリズム（体験交流型、着地型観光）に移行している現在、旅行業法も改正され、政府においても本年度、観光庁を設立し、新しい観光形態に対応できる人材育成を目指している。

2. 目的

昨年度、経済産業省ビジネス性実証事業として試行された「余暇ナビゲーター講座」とを発展させ、地元「みなと神戸」のニューツーリズムの担い手を養成する目的で開講する。

3. 趣旨

観光地（地域住民・観光事業者）、流通（旅行業者）、旅行者（ユーザー）の3者が共通言語としてこの講座を捉え、各立場の現状を理解し、ミスマッチをなくすことで、満足度の高い、高品質の旅行商品を創造することが可能となる。

このような観光人材を育成により、日本の観光をより循環型で持続可能性のある観光へと進化させることを目標とする。

3. 授業内容

- ・ 全15回、4/11 ガイダンス、4/18 開講
- ・ 観光の「4つのD」を理解する構成。Destination（観光地・地域住民）、Demand（需要（マーケット）・旅行者）、Distributor（流通）、Development（開発）。
- ・ それぞれテキスト執筆者が直接講義指導。各章の捕捉及びケーススタディとしてテーマ講座を展開。神戸のゲスト講師を招聘し、神戸の観光の魅力、課題を直接受講し、理解を深める。
- ・ フィールドワーク実習も行い、実際に実現可能なツアーを商品発表できる技能を身につける。
- ・ 認定講座講師：大澤健（和歌山大学准教授）田辺文彦、小野田金司（神戸夙川学院大学教授）ほか
- ・ テーマ講座講師：伊藤、福澤特別講師（国土交通省神戸運輸監理部）
- ・ その他ゲスト講師として各分野の専門家が講師を行う。

4. 資格認定

修了者で希望者には財団法人日本余暇文化振興会より認定証が発行される。（別途認定料10,000円が必要）

5. 公開講座

- ・ 神戸夙川学院大学観光文化学部「観光プロモーション論」にて開講
- ・ 毎週金曜日第1時限（9：20～10：50）担当：小野田金司
- ・ 一般参加者募集（若干名）
- ・ 申し込み先 神戸夙川学院大学事務局 078-940-1154 担当：山田直子まで

6. (参考)財団法人日本余暇文化振興会

本講座を認定監修するのは財団法人日本余暇文化振興会です。

当該財団は、昭和 48 年に設立された文部科学省の許可を受けた生涯学習を推進する公益法人（会長三角哲生、元文部次官）です。

生涯学習の理念はフランスのポールラングラン教授がユネスコの成人教育部長として祖述し、さらにモントリオールなどの国際会議において世界に提唱したもので、それまでの教科書や学校中心の教育に対し、成人教育の推進を行おうというものです。日本政府も生涯にわたって、生活や職業、社会的活動、趣味などに関する能力を向上させるために、主体的に学び続ける「生涯学習」の環境整備をすすめてきております。当振興会はラングラン教授を日本に初めて招聘し、講演会を開催するなど、生涯学習活動の草分け的存在として活動を重ねてきております。また、生涯学習活動を通じてスキルを身につけた人たちが、そのスキルを活用しつつ社会的に自立し、社会に貢献していかれることを支援します。

現在、地理能力検定試験の実施のほか、ツーリズム部門の各調査研究や、楽習フォーラム部門で、文化や手工芸の指導者を育成するプログラム支援を実施しています。

7. (参考) 経済産業省ビジネス性実証事業「元気なオヤジ」を活用した着地型観光の循環型交流拡大モデル事業

平成 19 年度実施。シニアが田舎を楽しむための倶楽部組織の構築、田舎での着地型事業者育成のカリキュラム「余暇ナビゲーター講座」を実施。和歌山県、山梨県にて試行した、全国から参加者が集まり成功裏に終了。

本事業での実証された「余暇ナビゲーター講座」をニューツーリズムの人材育成講座として発展させ、平成 20 年度より講座展開することとなった。

余暇ナビゲーター部会メンバー

- ・ 近畿日本ツーリスト㈱
- ・ 財団法人日本余暇文化振興会
- ・ 船井総合研究所
- ・ 和歌山大学
- ・ 神戸夙川学院大学

※ 近畿日本ツーリスト㈱はこの資格認定者を利用して、着地型ニューツーリズムの販売会社を角川ホールディングスと共同出資し、T ゲート㈱を設立し、事業化を目指す。